

令和3年度 シラバス

教科	地理・歴史	科目	沖縄の歴史	単位数	2単位	対象	3年1組～4組選択
----	-------	----	-------	-----	-----	----	-----------

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1. 沖縄史に関する興味・関心を高め、意欲的に学習する態度を育成する。</p> <p>2. 先人の足跡を学び、沖縄に生きるものとしての自分自身のアイデンティティの確立を図る。また、郷土と我が国を含む諸地域の歴史と関連付けながら理解させる。</p> <p>3. 主題学習を通して客観的で公正なものを見方を育成するとともに、広い視野から歴史を考察させる。調べ学習を取り入れることにより、自ら沖縄について学ぶ力を養う。</p>
---------	---

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学習内容	月	学習のねらい・目標	備考	考查範囲
一学期	1、近代の沖縄 ・欧米船の来航 ・日本の開国 ・琉球処分 ・県政時代 ・自由民権	4	旧慣温存策の中、日本の歴史の中に組み込まれ、急速に進んだ文明開化と皇民化政策、自由民権運動、制度改革について理解する。	・プリント学習	2学期中間考查
		5			
		6			
二学期	2、15年戦争と沖縄 ・15年戦争のはじまり ・軍国主義教育 ・沖縄戦のはじまり、特徴、問題点 3、近代日本と沖縄 ・米軍統治下の沖縄	7	琉球処分より、中国との関係が切れて、沖縄県としてスタートした後に、日本への同化、皇民化教育が徹底され、悲惨な沖縄戦をむかえていくことを理解する。 戦後、すぐに平和がやってきたのではなく、収容所での生活や土地収用など、県民の苦労は長く続き、本当の意味での戦後は、まだ、遠かったことに気づかせる。	・プリント学習	2学期期末考查
		9			
		10			
三学期	4、近代日本と沖縄 ・復帰後の沖縄 5、現在の沖縄 6、沖縄のレポート	11	念願の復帰を果たした沖縄県であったが、現在に至るまで、米軍基地や所得・雇用など様々な問題を抱えている。しかし、沖縄特有の条件を活かして、何ができるかを考え、郷土を愛し、社会に出た時に、誇りを持って沖縄を語れるように知識を深め、活用できるようにする。	・プリント学習 ・調べ学習	学年末考查
		12			
		1 2			
<p>【年間の学習状況の評価方法】 ・年間5回の定期考查80%、課題追究学習の取り組み状況、レポート・授業中の態度・ノートチェック20%の割合で評価する。</p>					